

# 新館建設時伐採のクスノキ 時計モニュメントに

ゆづゆづの里

伊東市八幡野の介護付き有料老人ホーム「伊豆高原ゆづゆの里」(杉山由施設長)



切り倒したクスノキの巨木で作った時計モニュメント＝伊東市八幡野の「伊豆高原ゆづゆの里・ケアセンター新館」

の、ケアセンター(介護棟)新館ロビーに設置された「時計モニュメント」。樹齢100年以上のクスノキの巨木を加工したもので、入居者や来訪者の注目を集めている。

クスノキはケアセンター新館を建設するたため、切り倒された。入居者らから「何かの形で残すことはできないか」などの声が上がったことを受け、同施設が活用方法を検討した。その結果、これか

らずと一緒の時を刻んでくれる「時計」のモニュメントを作ることが決まった。(同市吉田の「幸建」(斎藤知明社長)が制

作を担当した。丸太を長さ2・6メートルに切り、縦に割って幅約8センチの半円柱に加工した。時計の取り付け部分をくりぬき、表面にテーパーの仕上げに使う透明塗料を吹き付けた。

同社工事部長の一場亮太さんは「いろいろと話を聞いて、イメージに沿ったものを作ることができた。皆さんに喜んでもらえたらうれしい」と話した。杉

して、ずっと大切にしていきたい」と語った。

山行由施設長は「ケアセンターのシンボルと